

# 江別市高齢者総合計画の策定に向けた実態調査 【介護保険サービス事業所】

## ■記入方法

- ・この調査は、平成29年1月1日現在の状況についてお答えください。
- ・回答は、原則として「いくつでも」や「3つまで」といった指定がない限りは、あてはまる数字1つに○をつけてください。

設問によっては、数字を直接記入する場合があります。

「その他」を選んだ場合は、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。

- ・貴事業所単独では回答の難しい設問については、貴事業所の運営主体である法人と調整の上、お答えください。
- ・ご記入にあたって、貴事業所で該当する設問にのみ、お答えください。

## ■調査票提出期限

ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、

平成29年2月10日（金）までにご返送ください（切手不要）。

<調査実施主体>

江別市健康福祉部介護保険課

TEL 381-1067



問4. これまでに利用者や家族から苦情を受けたことがありますか。あるとすればどのような内容ですか。(2つまで)		
1. サービス内容に関するもの 2. 利用手続きに関するもの 3. 職員の態度その他に関するもの 4. 施設・設備に関するもの 5. 保険外負担(その他日常生活費など)に関するもの 6. その他( ) 7. 特に苦情は受けていない		
問5. 円滑な事業運営を進めて行くうえで、現在、特に困難を感じることはありますか。あるとすればどのようなことですか。(3つまで)		
1. 従事者の確保が難しい 2. 利用者の確保が難しい 3. 事務作業が多い 4. 施設・設備の改善が難しい 5. 必要な情報の入手に支障がある 6. 従事者の資質向上を図ることが難しい 7. 利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない 8. 市(自治体)との連携を図ることが難しい 9. その他( ) 10. 特に困難を感じることはない		
問6. 特に連携が必要だと思う関係機関等はどちらですか。(3つまで)		
1. 医療機関 3. 保険者 5. 高齢者クラブ 7. 社会福祉協議会 9. 介護・福祉関連のNPO・団体	2. 他の介護事業者 4. 地域包括支援センター 6. 民生委員 8. 自治会(町内会) 10. その他( )	
問7. 《居宅介護支援事業所以外の事業所の方におうかがいします》 貴事業所において、ケアマネジャーとの連携はいかがですか。		
1. 連携はとれている 3. あまり連携はとれていない		2. おおむね連携はとれている 4. 連携はとれていない
問8. 貴事業所からみて、江別市内の在宅医療・介護連携はどのように見えますか。		
1. 連携はとれている 3. あまり連携はとれていない 5. わからない		2. おおむね連携はとれている 4. 連携はとれていない

問9. 貴事業所からみて、江別市内の在宅医療・介護連携を進めるために、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。(いくつかでも)

1. 地域の医療・介護サービス資源の把握
2. 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討
3. 切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
4. 医療・介護関係者の情報共有の支援
5. 在宅医療・介護関係者に関する相談支援
6. 医療・介護関係者の研修
7. 地域住民への普及啓発
8. その他( )

問10. 患者情報の共有のために、多職種でICT(情報通信技術)を活用することについて、どのように思いますか。

1. 活用したいと思う
2. 活用したいとは思わない
3. その他( )
4. わからない

問11. 関係機関との連携に際し、現在、特に困難を感じることはありませんらご自由にお書きください。

---



---



---



---



---

問12. 《施設系サービス(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設、グループホーム)を運営している事業所の方におうかがいします》平成29年1月1日現在、待機している方はいらっしゃいますか。

1. いる ⇒問12-1、問12-2へ
2. いない

問12-1. 要介護度別に待機している方の人数及び平均待機期間を記入してください。

区分	待機人数	平均待機期間 ※1年未満の場合は平均月数を記入
要支援2	人	1. 1年未満 (ヶ月) 2. 1年以上
要介護1	人	1. 1年未満 (ヶ月) 2. 1年以上
要介護2	人	1. 1年未満 (ヶ月) 2. 1年以上
要介護3	人	1. 1年未満 (ヶ月) 2. 1年以上
要介護4	人	1. 1年未満 (ヶ月) 2. 1年以上
要介護5	人	1. 1年未満 (ヶ月) 2. 1年以上
合計	人	1. 1年未満 (ヶ月) 2. 1年以上

問 12-2. 貴事業所では、待機者が入所（入院）する場合は、何を優先にして決定していますか。（2つまで）

- |          |           |              |
|----------|-----------|--------------|
| 1. 申込順   | 2. 要介護度   | 3. 本人の身体精神状況 |
| 4. 家庭の状態 | 5. 他機関の紹介 | 6. その他（ ）    |

問 13. 《施設系サービス（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設、グループホーム）を運営している事業所の方におうかがいします》  
貴施設では看取りを行っていますか。

1. はい → （ ）回／年      2. いいえ

問 14. 《施設系サービス（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設、グループホーム）を運営している事業所の方におうかがいします》  
貴施設で看取りをする場合、特に欠かせないと思うことは何ですか。

1. 本人の意思が確認できていること
2. 本人・家族・関係者間の意思統一がされていること
3. 生活環境や介護保険サービスが整っていること
4. 医療機関との連携がとれていること
5. その他（ ）

問 15. 《施設系サービス以外の事業所の方におうかがいします。》  
平成 28 年（1 月 1 日～12 月 31 日）の間に利用開始を待ってもらったことはありますか。

1. ある ⇒問 15-1 へ      2. ない

問 15-1. 待機している方の人数及び平均待機期間を記入してください。

待機人数	平均待機期間 ※1年未満の場合は平均月数を記入
人	1. 1年未満（ ）ヶ月      2. 1年以上

問 16. その他の取り組みについて、貴事業所で介護サービスの質を向上させるために特に取り組んでいることがありましたら記入してください。

---



---



問 18. 介護ボランティアを行う動きが全国的に広がっていますが、事業所としてボランティアを受け入れることは可能ですか。	
1. できる ⇒問 18-1 へ	
2. できない ⇒問 18-2 へ	
問 18-1. ボランティアに任せられると思う業務は何ですか。(いくつでも)	
1. 配膳や洗濯物たたみなどの軽易かつ補助的な作業 2. 喫茶コーナーなどの補助 3. 利用者の話し相手 4. レクリエーションやゲームの手伝い 5. 楽器の演奏などの慰問 6. その他 ( )	
問 18-2. 受け入れができない理由は何ですか。(いくつでも)	
1. 人員は足りているから 2. 介護に携わったことのない人では業務に対応できないから 3. ボランティアの教育で時間がとられるから 4. その他 ( )	
問19. 貴事業所では、この1年間における人材の確保の状況はどうでしたか。	
1. 確保できている	2. おおむね確保できている
3. あまり確保できていない	4. 確保できていない
問20. 貴事業所で、不足している職種はありますか。(いくつでも)	
1. 訪問介護員	2. サービス提供責任者
3. 看護職員	4. 介護職員
5. 生活相談員	6. ケアマネジャー
7. 機能訓練指導員	8. リハビリテーション専門職 (PT、OT、ST 等)
9. その他 ( )	10. 特にない

問 21. 貴事業所では、新規人材の確保について、どのような取り組みを行っていますか。  
また、差し支えなければ、貴事業所の特徴的な取り組みについて、お聞かせください。（3つまで）

1. 定期的に求人誌への掲載などを行っている
2. 就職説明会への参加を行っている
3. 福祉専門学校等教育機関との連携を図っている
4. ハローワークとの連携を図っている
5. 人材派遣会社との連携を図っている
6. 無資格でも採用を行い、採用後に資格取得講座を受講させている
7. 採用時に給与を他社より好条件に設定している
8. 採用時に労働日数・時間の希望をできるだけ聞き入れている
9. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
10. 採用時に仕事のやりがいや、社会的意義を伝えている
11. インターンシップ制度を導入している
12. その他（ ）
13. 特に何も行ってない

問 22. 貴事業所では、人材の定着・育成（離職防止）について、どのような取り組みを行っていますか。また、差し支えなければ、貴事業所の特徴的な取り組みについて、お聞かせください（3つまで）

1. 近隣の企業者同業他社の給与水準を踏まえ、給与額を設定している
2. 永年勤続など一定期間勤めた際の報奨制度を設けている
3. 能力や仕事ぶりによって、管理職への登用機会を設けている
4. 非正規職員から正規職員への登用機会を設けている
5. 外部研修に参加できない職員のために、内部研修を充実させている
6. 新人職員に対し、一定期間、マンツーマンで知識や技能を指導するなどの支援体制を設けている
7. 育児中の職員への配慮など、働きやすい環境をつくっている
8. 休憩室や談話室の設置など、職員がリラックスできる環境を整えている
9. 上司や管理職が頻繁に面談を行い、職員の要望や不満を汲み取っている
10. 職員への満足度（不満）調査を行い、事業所における課題の把握を行っている
11. インターンシップ制度を導入している
12. その他（ ）
13. 特に何も行ってない



問 23. 地域で尊厳ある自立した日常生活を送ることができるよう、介護保険や高齢者保健福祉分野で、今後特に高齢者施策として力を入れてほしいものはどれですか。

(3つまで)

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 生きがい・社会参加への支援          | 2. 働く機会への支援       |
| 3. ボランティアや地域活動の充実         | 4. 介護予防・健康づくりの推進  |
| 5. 1人暮らしなどの高齢者の見守り・助け合い活動 | 6. 多様な生活支援サービスの充実 |
| 7. 介護保険サービスの充実            | 8. 入所施設の整備        |
| 9. 認知症高齢者とその家族への支援        | 10. 地域包括支援センターの充実 |
| 11. 住まいに関する情報提供の充実        | 12. その他 ( )       |
| 13. わからない                 |                   |

<最後に、貴事業所についてうかがいます>

問 24. 平成 29 年 1 月 1 日（基準日）の貴事業所についてお答えください。

(1) 提供しているサービス種類

【居宅サービス（予防を含む）及び施設サービス】（該当するものすべてに○）

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 訪問介護        | 2. 訪問入浴介護      |
| 3. 訪問看護        | 4. 訪問リハビリテーション |
| 5. 居宅療養管理指導    | 6. 通所介護        |
| 7. 通所リハビリテーション | 8. 特定施設入居者生活介護 |
| 9. 福祉用具貸与      | 10. 特定福祉用具購入   |
| 11. 住宅改修       | 12. 居宅介護支援     |
| 13. 短期入所生活介護   | 14. 短期入所療養介護   |
| 15. 介護老人福祉施設   | 16. 介護老人保健施設   |
| 17. 介護療養型医療施設  | 18. その他 ( )    |

【地域密着型サービス】（該当するものすべてに○）

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 夜間対応型訪問介護               | 2. 地域密着型通所介護            |
| 3. 認知症対応型通所介護              | 4. 小規模多機能型居宅介護          |
| 5. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護        | 6. 認知症対応型共同生活介護         |
| 7. 地域密着型特定施設入居者生活介護        | 8. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 9. 複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護) |                         |

(2) 所在地区

1. 江別

2. 野幌

3. 大麻

(3) 経営主体	1. 社会福祉法人 2. 医療法人（公益社団・一般社団・公益財団・一般財団） 3. 民法法人（公益社団・一般社団・公益財団・一般財団） 4. 営利法人（有限・株式会社等） 5. 特定非営利活動法人（NPO） 6. 非法人（個人経営） 7. その他（                      ）			
(4) 職員について				
ア. 平成 29 年 1 月 1 日現在の職員数	_____	人		
イ. 全職員に占める正規職員の割合	_____	%		
ウ. 昨年 1 年間（平成 28 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の離職者				
正規職員	_____	人	非正規職員	_____
				人
(5) 平均給与額				
<b>【常勤職員】</b>				
※常勤職員とは、就業規則等で定められている正規職員の週の所定労働時間と同等の勤務時間である職員				
（単位：人）				
常勤職員 入社区分	採用から 2 年未満	入社 2 年以上 5 年未満	入社 5 年以上 10 年未満	入社 10 年 以上
10 万円未満（月額）				
10～12 万円未満（月額）				
12～14 万円未満（月額）				
14～16 万円未満（月額）				
16 万円以上（月額）				
<b>【非常勤職員】</b>				
※非常勤職員とは、就業規則等で定められている正規職員の週の所定労働時間を下回る勤務時間である職員				
（単位：人）				
非常勤職員 入社区分	採用から 2 年未満	入社 2 年以上 5 年未満	入社 5 年以上 10 年未満	入社 10 年 以上
800 円未満（時給）				
800～1,000 円未満（時給）				
1,000～1,200 円未満（時給）				
1,200～1,400 円未満（時給）				
1,400 円以上（時給）				

(6) 介護職員の処遇改善加算を算定していますか。	
1. している ⇒ (6) - 1、(6) - 2へ	2. していない
3. 検討中	4. 加算の対象外
(6) - 1. どのような処遇改善を行いましたか。(いくつでも)	
1. 基本給	2. 賞与
3. 各種手当	4. その他 ( )
(6) - 2. 従業員にどのような効果があったと思いますか。(いくつでも)	
1. 離職率が下がった	2. 職場の雰囲気活性化した
3. 介護職員の増員ができた	4. あまり効果はみられなかった
5. その他 ( )	

<b>意見</b>	<b>さいごに (自由意見)</b>
介護保険や高齢者保健福祉について、新たなサービスの提案等ご自由にご意見・ご要望などをお書きください。	
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	

ご協力ありがとうございました。  
 記入もれがないか、今一度お確かめください。  
 記入した調査票は3つ折りにして、同封した返信用封筒にて  
平成29年2月10日(金)まで に返送してください。

